

◆学校の詳細情報（平成26年5月更新情報）

都市名	タシケント市
学校名	タシケント・インターナショナル・スクール Tashkent International School
所在地・TEL・FAX・Email・URL等	38, Sarikulskaya St., Mirabad District, Tashkent 100005, Republic of Uzbekistan TEL:(+998-71) 291-9670/71/72、291-9667 FAX:(+998-71) 120-6621 URL:http://tashschool.org/ Email: office@tashschool.org
場所	市中心に近い在ウズベキスタン日本大使館の南方約4.5km、車で約15分
学校の形態・種類	1994年設立、私立／共学／通学制(3歳～18歳) 保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校 【加盟機関】 インターナショナルスクール会議(CIS:Council of International Schools :英国) ニューイングランド学校協議会(NEASC:New England Association of Schools and Colleges :米国)
教育課程の認定	【当該校設置国(教育課程の準拠する国)の上級学校への進学資格】 米国、英国他、国際バカロレア(IB:International Baccalaureate)を入学資格として認定している上級学校への進学が可能。 【学校所在国の上級学校への進学資格】 ウズベキスタン国内の大学については、教育課程が異なるため進学できない。 ウズベキスタン国内の外国大学(ウェストミンスター国際大学タシケント校、シンガポール経営大学タシケント校、トリノ大学タシケント校、モスクワ国立大学タシケント校等)には進学可能。
学校の概要・特色	IBプログラムに基づく教育プログラムを採用。 学校の敷地は広く、良好な学習環境を有する。校舎も十分な広さを有し、コンピューター等の最新設備も備えている。また、校内には、警備員が配置され、セキュリティ面も配慮されている。
授業方式・言語	方式:アメリカ・イギリス方式 教授言語:英語
受験できる統一テスト	TOEFL、SAT、ACT
卒業生の進路状況	【全卒業生の進路状況】 欧米等の自国大学に進学する者が多い 【日本人卒業生の進路状況】 2010年卒業生(1名):カナダ・ブリティッシュコロンビア大学へ進学 【進学のためのカリキュラム】 なし。
卒業条件および発行される証明書	アメリカの高校卒業証明書、IB(国際共通大学入学資格)証明書。
外国人に対する言語特別指導	ESLクラスあり。(毎日1時限程度) 英語の理解力の低い児童、生徒は、該当年齢よりも下級クラスに編入させる場合がある。
障害児受け入れ	障害程度の軽い者(付添が不要な障害者)は、通常クラスへの編入が可能。

就学段階別対象年齢 ・学年	<p>保育園(Pre Kindergarten :PK 1~2):3歳、4歳</p> <p>幼稚園(Kindergarten):5歳</p> <p>小学校(1年生~5年生:Grade1~5):6歳~10歳</p> <p>中学校(6年生~10年生:Grade6~10):11歳~15歳</p> <p>高等学校(11年生~12年生:Grade11、12):16歳~17歳</p>										
小学校1年生の 年齢基準日	当該年の9月1日までに満6歳になる子女が、同年の8月中旬(入学日は毎年異なる)に入学。										
教職員数	教諭(常勤)、講師(非常勤)合わせて約100名(内外国人教師約60名)										
在籍児童生徒数	<p>小学生以下:約230名、中学生以上:約240名</p> <p>合計:約480名</p>										
在籍日本人児童生徒数	小学校に3名、中学校に1名										
学校年度・学期制	<p>学校年度 8月中旬~6月上旬</p> <p>【2学期4四半期制】</p> <p>1学期第1四半期:8月中旬~10月下旬</p> <p>1学期第2四半期:10月下旬~1月下旬</p> <p>2学期第3四半期:1月下旬~4月中旬</p> <p>2学期第4四半期:4月中旬~6月中旬 (6月中旬から夏期休暇)</p>										
日課等	<p>【始業・終業時刻】</p> <p>8:25~15:20</p> <p>【授業以外の校内活動(課外・部活動等)】</p> <p>15:30~16:30(種目により異なる。)</p>										
保護者負担経費	<p>支払通貨名:USドル(学校指定銀行口座への口座振り込み)</p> <p>入・編入学時経費:</p> <p>【入学金及び登録料】保育園 無料(変更の可能性有り)</p> <p>幼稚園/小学校/中学校/高等学校 3,000USドル</p> <p>※2人目(兄弟姉妹)からは500USドル程度割引となる。(申込時に要確認)</p> <p>年度ごとに必要な経費/年額:</p> <table> <tr> <td>【授業料】 保育園 (PK1,2)</td> <td>6,180 USドル</td> </tr> <tr> <td>幼稚園 (Kinder)</td> <td>19,220 USドル</td> </tr> <tr> <td>小学校 (G1~G5)</td> <td>19,220 USドル</td> </tr> <tr> <td>中学校 (G6~G10)</td> <td>21,800 USドル</td> </tr> <tr> <td>高等学校 (G11~G12)</td> <td>23,860 USドル</td> </tr> </table> <p>注:2014年8月以降の授業料</p> <p>分割払い可能。途中転出、転入等による減額あり。</p> <p>【教材費】適宜必要。</p> <p>【課外授業代】選択した科目により、別途追加徴収するものあり。</p>	【授業料】 保育園 (PK1,2)	6,180 USドル	幼稚園 (Kinder)	19,220 USドル	小学校 (G1~G5)	19,220 USドル	中学校 (G6~G10)	21,800 USドル	高等学校 (G11~G12)	23,860 USドル
【授業料】 保育園 (PK1,2)	6,180 USドル										
幼稚園 (Kinder)	19,220 USドル										
小学校 (G1~G5)	19,220 USドル										
中学校 (G6~G10)	21,800 USドル										
高等学校 (G11~G12)	23,860 USドル										
スクールバスの有無 ・通学方法	なし。										
昼食の形態	学校のランチサービス(別料金)又は弁当										

入・編入学の時期	<p>【入学申請受付時期】</p> <p>随時可能。定員等の関係から可能な限り早めに学校側とコンタクトする方が望ましい。</p> <p>【編入学申請受付時期】</p> <p>随時受け付け可能。クラス定員に応じウエイティングとなる場合もある。</p> <p>注：入学・編入の何れもWebサイトでの申し込みが可能。</p>
入・編入学の基準	<p>【基準・選抜方法】</p> <p>保育園から1年生までは特に選抜基準はなし。</p> <p>2年生から5年生は英語レベルチェック(ESLクラス受講の必要性を確認するため)。</p> <p>6年生から8年生は、英語・算数の試験あり。</p> <p>9年生以上は、対応の英語能力を必須とする。</p> <p>【言語能力チェックの有無】</p> <p>あり。</p> <p>【高校段階での編入の可否】</p> <p>可(ただし、選択科目等を含め、事前に学校側と相談する必要がある)。</p>
日本人入学の規制・条件	<p>【日本人入学の規制・条件】</p> <p>学年相応の英語能力が必要であるが、低学年であればESL授業を受けることで対応可能。</p> <p>【予防接種の種類】</p> <p>脳膜炎、MMR、水疱瘡、百日咳、破傷風等が必要。</p> <p>ただし日本と接種時期・回数が異なるため、当地到着後に日本国内で接種済みの予防接種証明書(英文)を提出し、不足分の予防接種を学校に隣接するタシケント・インターナショナル・メディカル・クリニックで接種することとなる。</p>
入・編入学に際しての必要書類	<p>日本から持参する書類：</p> <p>成績証明書(前年分：英訳の添付を要する)</p> <p>出願書類：</p> <p>入学申請書関連書式(学校側で準備)</p> <p>接種済み予防接種証明書(英文)</p> <p>パスポートのコピー</p> <p>パスポートサイズの写真4枚</p>
ウエイティング	<p>ウエイティング制度：あり。</p> <p>有りの場合の状況：各クラス20人、各学年最大2クラスの定員に応じて、ウエイティングとなる場合あり。</p>
学校への訪問について	<p>アポイントの要不要：要</p> <p>受付曜日・時間：平日8:30～15:15</p> <p>連絡先：Admission correspondence：office@tashschool.org、+998-71-291-9671/72、291-9667</p>
地域の特色等	<p>校舎は、タシケント市東部に位置し、周囲は閑静な住宅街となっており、広大な同校の施設配置を含め、安心して勉学に励むことができる環境となっている。</p> <p>各国大使館子弟、駐在企業員子弟などの多くは同校に通っている。</p> <p>周辺の治安は、市内でも比較的良く、落ち着いた雰囲気の中で各国子弟との交流を行うことができる。</p>